

第2期

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(総合計画前期基本計画リーディングプロジェクト)

令和4(2022)年度評価報告書

令和5年 月

1. 総合戦略の概要	4
2. 評価の趣旨及び方法	9
3. 具体的施策の評価	12
基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト	12
1 水とみどりを育む取組みの推進	14
2 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進	16
3 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進	17
4 災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進	19
基本目標1 達成状況の総括・外部評価	20
基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト	21
5 安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進	23
6 秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進	24
7 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進	25
8 市民総ぐるみによる学校給食の推進	26
基本目標2 達成状況の総括・外部評価	27
基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト	28
9 温泉を生かしたにぎわい創造の推進	30
10 学生の力を生かしたにぎわい創造の推進	31

1 1	文化財・桜・湧水を生かしたにぎわい創造の推進	3 2
1 2	丹沢登山や渋沢丘陵を生かしたにぎわい創造の推進	3 4
	基本目標3 達成状況の総括・外部評価	3 5
	基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト	3 6
1 3	表丹沢魅力づくり構想の推進	3 8
1 4	地域特性を生かした企業誘致の推進	3 9
1 5	新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進	4 0
1 6	国道246号バイパス（厚木秦野道路）早期全線事業化・整備の促進	4 1
	基本目標4 達成状況の総括・外部評価	4 2
	基本目標5 新たな日常創造プロジェクト	4 3
1 7	新型コロナウイルスと共存した感染症対策と経済活動の推進	4 5
1 8	デジタル化の推進	4 6
	基本目標5 達成状況の総括・外部評価	4 7
	横断プロジェクト	4 8
	移住・定住活性化	4 9
	横断プロジェクト 達成状況の総括・外部評価	5 0
4.	外部評価の総括	5 1

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)については、国からの要請に基づき、内部における進行管理の妥当性、客観性を担保するため、平成29年度から外部評価を取り入れたものです。

外部評価を行う秦野市行財政調査会は、「秦野市附属機関の設置等に関する条例」に規定されている市長の「附属機関」です。

秦野市行財政調査会は、市長からの諮問に基づき、総合戦略及び総合計画の進行管理、評価に関する事項を担っています。

外部評価にあたっては、秦野市総合計画はだの2030プラン前期基本計画(以下「総合計画前期基本計画」という。)において、リーディングプロジェクトとして位置づけた5つのプロジェクトと1つの横断プロジェクトを第2期総合戦略の基本目標としていることから、第2期総合戦略と総合計画前期基本計画を同時に評価しました。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

総合計画との一体的な取組みを推進

総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の人口ビジョン及び総合戦略を勘案し、「秦野市人口ビジョン(令和3年3月改定)」で示した将来展望や目指すべき方向性の実現に向け、重点的に取り組むプロジェクトをまとめたものです。

第2期総合戦略では、総合計画前期基本計画のリーディングプロジェクトを基本目標に位置づけ、総合計画前期基本計画と一体的に取り組むことにより、地域資源を生かした活力あるまちづくりを目指しています。

また、計画期間についても、総合計画前期基本計画との整合を図るため同一の期間とし、令和3年度から令和7年度までの5年間としています。

総合計画前期基本計画
リーディングプロジェクト
『“住んでみよう・住み続けよう”
秦野みらいづくりプロジェクト』



第2期総合戦略
基本目標（プロジェクト）

人口減少と地域経済縮小の克服

地域資源を生かした活力あるまちづくりを推進するための施策として基本目標を定め、基本目標を達成するために講ずべき施策の基本的方向とその評価指標を設定しています。

1 基本目標(プロジェクト)

国の第2期総合戦略が定める政策分野を勘案して、市の第2期総合戦略における政策分野を定め、5年後の基本目標(実現すべき成果に係る数値目標KGI※1)を設定しています。

2 講ずべき施策に関する基本的方向

基本目標を達成するために講ずべき施策の基本的方向を示しています。

3 具体的な施策と客観的な指標

基本的方向に沿って、具体的な施策を記載するとともに、各施策の効果を客観的に検証できるようにするため、重要業績評価指標(KPI※2)を設定しています。

※1 KGI:Key Goal Indicatorの略称。目標を達成するための指標。

※2 KPI:Key Performance Indicatorの略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

PDCAサイクルを重視した効果検証

「まち・ひと・しごと創生」においては、若者や女性への支援、そしてまちづくりまで多岐にわたる分野について、横断的に取り組むことが求められています。

そのため、事業の推進にあたっては、行政のみならず、市民や事業者、関係者等がそれぞれの役割と連携のもとで協働により取り組む必要があります。

計画の進捗状況については、基本目標及び施策ごとにそれぞれ目標を設けるとともに、評価・検証し、必要に応じて取組内容を見直すPDCAサイクルを重視して、その実効性を高めます。

	目標の設定内容	効果検証時期	効果検証の方法
基本目標	実現すべき成果に係る数値目標(KGI)	計画期間終了後	有識者等による外部評価を経て、必要に応じて戦略の見直しを行う
施策	重要業績評価指標(KPI) ※ 検証による見直しもあり得る。	毎年	

基本目標1

健康で安心して暮らせるプロジェクト

- 水とみどりを育む取組みの推進
- 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進
- 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進
- 災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進

基本目標2

未来を拓く子育て・教育プロジェクト

- 安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進
- 秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進
- 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進
- 市民総ぐるみによる学校給食の推進

基本目標3

小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

- 温泉を生かしたにぎわい創造の推進
- 学生の力を生かしたにぎわい創造の推進
- 文化財・桜・湧水を生かしたにぎわい創造の推進
- 丹沢登山や渋沢丘陵を生かしたにぎわい創造の推進

基本目標4

新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

- 表丹沢魅力づくり構想の推進
- 地域特性を生かした企業誘致の推進
- 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進
- 国道246号バイパス(厚木秦野道路)早期全線事業化・整備の促進

基本目標5

新たな日常創造プロジェクト

- 新型コロナウイルスと共存した感染症対策と経済活動の推進
- デジタル化の推進

横断プロジェクト

移住・定住活性化

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

第2期戦略2年度目の評価

昨年度は、令和3年度(第2期戦略初年度)の取組みについての外部評価を行い、行財政調査会から「5つの基本目標と1つの横断プロジェクトの達成状況に対する市の総括は妥当であり、令和3年度の取組みは概ね順調に進んでいる」との評価を得ました。

今年度は、昨年度の外部評価の指摘事項等を踏まえ、自己評価の改善に努めた上で内部評価に当たりました。

1 基本的背景

総合戦略では、国からの通知等により、学識経験者等の第三者の検証を求め、達成状況の評価の透明性、客観性及び公正性を確保することが必要とされています。

2 行政需要への的確かつ柔軟な対応

総合戦略で掲げた施策について、その進捗状況の効果や課題を検証し、必要な見直しを図るため、PDCAサイクルを構築し、変化し続ける行政需要に的確かつ柔軟に対応します。

3 市民等との共有

事業の推進にあたっては、行政のみならず、市民や事業者、関係者等がそれぞれの役割と連携のもとで協働により取り組んでいくことが必要であるため、評価結果を公表し市民等と共有します。

1 達成状況について

市では、各部局において、総合戦略の重要業績評価指標(KPI)単位の達成状況を評価したうえで、基本目標単位の達成状況を総括しました。

なお、達成状況の総括は、**KPI単位の評価を基準として**、右表の区分に応じたものとしています。

【達成状況(KPI単位)の区分】

区分	評価の考え方
A	数値目標の達成率が100%以上
B	数値目標の達成率が75%以上100%未満
C	数値目標の達成率が50%以上75%未満
D	数値目標の達成率が50%未満

【達成状況(基本目標単位)の総括の区分】

区分	評価の考え方
順調に進んでいる	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価の割合が100%
概ね順調に進んでいる	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価とB評価の合計の割合が75%以上
やや遅れている	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価とB評価の合計の割合が50%以上75%未満
遅れている	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価とB評価の合計の割合が50%未満

2 外部評価について

基本目標ごとに、市の達成状況の総括の内容が妥当であるか否かの評価を行いました。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

秦野らしい豊かな自然環境の中で、誰もが健康で生き生きと活躍し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
<div></div> 監視基準井戸の地下水位	121.8m	▶	121.6m
.....			
<div></div> 平均自立期間 (日常生活動作が自立している期間の平均・暦年)	男性 83.12歳(R2) 女性 85.79歳(R2)	▶	男性 83.92歳 女性 86.28歳
.....			
<div></div> 秦野警察署管内刑法犯認知件数(年間)	650件	▶	620件

概ね順調に進んでいます。

市民共有の財産である水とみどりを守り育て、生かすことにより、恵まれた自然環境と共生した秦野らしさのあるまちづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
水源の森林エリアにおける森林整備(奥山を除く)面積	標高が概ね300メートルを超える水源エリアでの適正な森林管理を促進する	26.97ha	125ha	31.45ha	50ha	40.81ha	81.6%	B	<ul style="list-style-type: none">森林所有者と締結した「協力協約」に基づく森林整備水源林管理道の整備
くずはの家における自主事業の実施回数	生物多様性、自然環境の現状について学び、その保全・活用に対する意識の向上を目指す機会として自主事業を実施する	82回	88回	102回	83回	88回	106.0%	A	<ul style="list-style-type: none">自然観察会の実施自然保護及び緑化の推進に関する普及啓発エコスクール事業の講師春のつどい、秋のつどいの実施
秦野市の二酸化炭素排出量	秦野市地球温暖化対策実行計画において掲げた目標値(2013年度比・2030年度46%削減)を目指す	768千トン (H30実績)	720千トン	735千トン (R元実績)	786千トン	705千トン (R2実績)	111.5%※	A	<ul style="list-style-type: none">イニシアチブパートナーを中心に「はだの脱炭素コンソーシアム」の設立準備COOL CHOICEの普及啓発ライトダウン、緑のカーテン事業の実施 ※ 削減目標であるため、達成率を(A)／(B)で算出

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
植樹祭、下草刈、県民参加の森林づくりなど森林整備事業への市民参加数	市民主体の植樹・育樹等を通じた市民による森林づくりを推進する	937人	1,150人	534人	1,100人	807人	73.4%	C	<ul style="list-style-type: none">表丹沢野外活動センター活動棟裏、平沢地内での植樹頭高山、弘法山公園の草刈り北小学校6年生児童の植樹体験
秦野名水ロゴマークの使用件数(累計)	「秦野名水」の効果的な普及啓発を図る	87件	160件	136件	120件	151件	125.8%	A	<ul style="list-style-type: none">ホームページ等での周知
市民一人1日当たりのごみの排出量(資源物を除く) ※ R5.3追加項目	持続可能な循環型社会に向けて再使用、資源化を促進するとともに、市民生活や事業活動から排出されるごみの抑制を目指す	613g	597g	608g	611g	593g	103.0%※	A	<ul style="list-style-type: none">広報特集号、ごみ減量通信の発行及び啓発パネルの掲示ホームページやアプリによる周知廃棄物減量等推進活動説明会や出前講座による説明の実施 ※ 削減目標であるため、達成率を(A)／(B)で算出

遅れています。

人生100年時代を心身共に健康で安心して暮らせるよう、地域医療の充実・強化を図りながら健康長寿に向けた取組みを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
未病センター健康相談会における利用者数	身近な場所で自身の健康状態を把握し、その結果に基づき健康づくりをする人を増やす	182人	260人	60人	240人	124人	51.7%	C	・骨密度測定をはじめとした健康測定、未病セミナー、健康相談会の開催
特定健康検査の受診率及び特定保健指導の利用率	特定検診、特定保健指導の受診率及び利用率の向上による健康長寿に向けた取組みを推進する	33.6% 14.4%	40.0% 26.0%	31.5% 15.1%	37.8% 22.2%	33.2% 12.8%	87.8% 57.7%	C	・集団検診実施
「週1回30分以上スポーツ・レクリエーション活動する市民」の割合	各種スポーツ大会の企画・実施を通じた生涯スポーツ活動の普及促進を図る	42.9%	65.0%	38.9%	56.0%	36.6%	65.4%	C	・上智大学と連携し「はだのparaスポーツフェスティバル」を開催 ・「第18回はだの丹沢水無川マラソン大会」の開催
市内の就業看護職員数	医師会との情報共有や支援等を通じて市内で就業する看護職人材を確保する	1,516人	1,650人	1,534人 (R2実績)	1,550人	1,534人 (R2実績)	99.0%	B	・市医師会が行う修学等資金貸与について、市広報及びホームページでの周知

概ね順調に進んでいます。

誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら安心して暮らせるよう、地域における人と人のつながりを大切にし、互いに助けあい、共に支えあうまちづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
地域共生社会の実現に向けた福祉研修の実施回数 (年間)	地域住民相互の支えあいによる共助の取組みの活性化等を通じた「地域共生社会」の実現を目指す	— ※	2回	2回	2回	3回	150.0%	A	<ul style="list-style-type: none">相談支援包括推進会議による研修の実施福祉部在課1～2年目職員への研修の実施ひきこもり支援者研修会の開催 ※ 研修がR3年度に開始されたため現状値(R元)を「—」とする
要介護等認定率	介護予防等の取組みの強化による認定率の上昇抑制を図る	14.1%	17.0%	14.8%	15.4%	15.0%	102.7%	A	<ul style="list-style-type: none">地域高齢者支援センターの機能強化に向けた検討課題解決に向けた多職種による地域ケア会議の開催
認知症サポーター養成者数	地域・職場・学校等に向けた「認知症への理解を深める普及啓発」によって、市民全体で認知症の人とその家族を支える基盤づくりを目指す	13,250人	24,000人	14,533人	18,000人	15,097人	83.9%	B	<ul style="list-style-type: none">認知症サポーター養成講座の開催認知症地域支援推進員研究会の開催

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
住民主体の通いの場への高齢者の参加者数	介護予防に資するサロン活動や体操を継続的に行う住民の通いの場の充実を図る	4,892人	5,200人	3,016人	5,050人	4,631人	91.7%	B	<ul style="list-style-type: none">介護予防体操の定期的な実施に向けた支援地域介護予防活動団体や老人クラブへの補助金交付リハビリテーション専門職等の派遣

順調に進んでいます。

市民の生命や財産を守り、安全・安心な暮らしを実現させるため、市民、事業者、行政が一体となった地域力や都市の安全性を強化する取組みを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
防災訓練等の参加者数 ※ R5.3指標変更項目	地域防災体制の整備・強化のための防災訓練等の実施	— (3,749人※)	16,000人	— (2,178人※)	14,500人	27,275人	188.1%	A	・地域での防災訓練や防災講演会等の開催 ※ R元及びR3実績には総合防災訓練の参加者が含まれない
木造住宅の耐震相談会の開催回数(年間)	木造住宅の耐震改修促進のための相談会の実施	12回	12回	11回	11回	11回	100.0%	A	・木造住宅の耐震改修促進のための相談会の実施
管理不全空家の状態が改善された割合	防災、衛生、景観等において周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれのある管理不全空家の防止解消に向けた対応を図る	60.0%	70.0%	74.0%	64.0%	71.0%	110.9%	A	・「空家等の適正管理に関する条例」の運用

市による達成状況の総括 **概ね順調に進んでいる**

重要業績評価指標(KPI)17項目のうち、A評価(9項目)及びB評価(4項目)の合計は、13項目(約76%)でした。

人が集うイベントや対面で行う事業の中で、新型コロナウイルスの影響により規模の縮小等を余儀なくされたことにより達成率に影響が生じた項目が4項目ありますが、うち3項目が昨年度に比較して参加者等が増加しているなど施策は概ね順調に進んでいます。

一方で「人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進」では、C評価が3項目となり、健康づくりに関する意識啓発に課題が生じていることから、事業内容や周知方法等の必要な見直しを行い、市民一人ひとりが自分自身や家族の健康に対する意識を高め、身近な場所や地域資源を活用しながら健康的な生活習慣を身に付けることができる環境づくりに取り組めます。

外部評価 **市による達成状況の総括は妥当です**

- ❑ 市民共有の財産である水とみどりを守り育てるためには、下草刈など地道な取組みが非常に重要です。森林整備事業への参加者数に課題が表れているため、効果的な広報等により新規を含む参加者の確保に努めることが必要です。
- ❑ 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進では、市民の健康に対する啓発が進んでいない課題が表れているため、取組手法の改善が必要です。
- ❑ 近年激甚化する大規模自然災害に対応するため、引き続き災害に強いふるさとづくりの推進への取組みが望まれます。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

結婚・妊娠・出産・育児への切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境を整備するとともに、教育水準の改善・向上や中学校給食の完全実施を中心とした取組みにより、秦野の未来を担う子どもたちの生きる力を育む教育環境づくりに取り組みます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

R元(2019)
現状値

R7(2025)
目標値

合計特殊出生率	1.12(H30)	▶	1.43
全国学力・学習状況調査等における集計値 (平均正答率)	60.2%(全国63.8%)	▶	全国平均以上
全国学力・学習状況調査等における集計値 (学習意欲)	60.4%	▶	68.0%
全国学力・学習状況調査等における集計値 (非認知能力)	71.2%	▶	81.0%

概ね順調に進んでいます。

周産期医療及び保健体制の整備・充実などにより、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っている保護者の割合(3歳6か月児健康診査時調査)	妊娠期から子育て期までの相談体制を整備し、親子の多様性に応じた継続支援の充実を図る	66.1%	75.0%	65.9%	69.0%	65.6%	95.1%	B	<ul style="list-style-type: none">産後ケア事業等を活用した切れ目のない母子支援特に支援が必要な妊婦等に対する関係機関と連携した支援
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合(1歳6か月児健康診査時調査)	少子化・核家族化の進行、地域とのつながりの希薄化による妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきている中での切れ目のないきめ細やかな支援を実施する	86.4%	87.5%	80.7%	86.9%	82.8%	95.3%	B	<ul style="list-style-type: none">集団方式を採っている乳幼児健診で、その特徴を活かした切れ目のない支援の実施

概ね順調に進んでいます。

結婚から育児までの切れ目のない支援により、地域で安心して子育てができる環境づくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
定員超過により保 育所等に入所でき ない児童の数 (4月1日時点)	仕事と子育てを両 立し、安心して子育 てができる環境づ くりにより待機児 童の解消を目指す	9人	0人	4人	0人	0人	100.0%	A	・認可保育所(定員60名)の開 所 ・保育所等支援事業補助金の交 付
地域子育て支援拠 点事業の箇所数	新たな地域子育て 支援拠点を増やし、 子育て支援の充実 を図る	8箇所	9箇所	10箇所	9箇所	10箇所	111.1%	A	・子育て支援センター「ぼけっと 21おおね」の移転(大根幼稚 園→ひろはたこども園
特に児童虐待のリ スクが高い要保護 児童に対する個別 ケース検討会議の 開催割合	児童虐待の発生予 防と早期発見・早 期対応を目指した 個別ケース検討会 議を開催する	80.0%	100.0%	76.0%	85.0%	80.0%	94.1%	B	・個別ケース検討会議の開催等 による関係機関との連携・迅 速な対応
ひとり親家庭等の 保護者の資格取得 後の就職状況	ひとり親家庭の保 護者の就業や就職 活動を側面から支 援し、早期自立を 目指す	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	・自立支援教育訓練給付金、高 等職業訓練給付金の支給 ・自立支援員による面接、電話 相談の実施

概ね順調に進んでいます。

子どもたちの新たな学びのスタイルを構築するとともに、次世代の教育を見据えた環境整備により、「はだのっ子」の確かな学力向上に向けた取組みを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
保護者アンケートにおいて、園小中一貫教育が推進されていると回答した人の割合	園小中一貫教育を推進し、教育水準の改善向上のエビデンスとするため、学びの連続性を実感できる体制づくりを推進する	67.0%	77.0%	— ※	70.0%	80.1%	114.4%	A	<ul style="list-style-type: none">・ 中学校区ごとの同一テーマの設定・ 園小中一貫教育推進のための合同研修会実施・ 園小中相互の保育・授業参観・ 給食交流等の園小中の交流活動 ※ R3年度は新型コロナウイルスの影響でアンケートが実施できなかった
学校運営協議会の設置校数	地域とともにある学校づくりに向けた学校運営協議会の設置によりコミュニティ・スクールを推進する	7校	22校	11校	13校	16校	123.1%	A	<ul style="list-style-type: none">・ CSディレクターの配置による学校運営協議会の支援・ 学校向け研修会の開催・ 地域学校協働活動推進員との連携
授業でICTを効果的に活用できていると回答した教職員の割合(文科省調査)	学校における働き方改革を含め、教職員がICTの効果的な活用を実感できる体制づくりを推進する	74.4%	100.0%	77.8%	85.0%	78.8%	92.7%	B	<ul style="list-style-type: none">・ 指導者用デジタル教科書の導入・ 学習支援アプリの導入・ 地方教育アドバイザー派遣制度の継続・ 教職員向け研修会の実施・ ICTマイスター制度の継続

概ね順調に進んでいます。

中学校給食の完全実施を契機とし、商業・農畜産業などの地場産業との連携による地産地消や地域に根差した食育の推進により、市民総ぐるみの学校給食を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
学校給食食材における秦野産野菜の使用割合	対象品目において秦野産野菜の年間総使用量割合の向上を目指す	37.2%	50.0%	32.4%	— ※	32.7%	—	—	<ul style="list-style-type: none">地場農産物の使用量の拡大に向け、秦野産農産物の供給団体（農協、東地区農産物直売研究所、丹沢秦野観光農業研究会、峠営農組合）や市内の八百屋と連携した学校給食への新鮮な地場農産物の提供 ※ R3年度から中学校給食を開始したため、全体割合としての実績値が現状値に比べて低くなっている。また、小中学校給食に提供する秦野産野菜の必要量の確保には時間を要すること等から、中間値(R5)及び最終値(R7)のみの目標設定としている。
地産地消応援サポーター登録店舗数	消費、流通、販売面から地産地消推進に参画する登録店舗数の増加を目指す	47店	55店	50店	52店	50店	96.2%	B	<ul style="list-style-type: none">市広報による制度周知

市による達成状況の総括 概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)11項目のうち、今回評価対象となる10項目に対して、A評価(5項目)及びB評価(5項目)の合計は、10項目(100%)でした。

施策は概ね順調に進んでおり、特に「定員超過により保育所等に入所できない児童の数」が0(ゼロ)人を達成するなど、取組みの成果が表れている事業が多くあるため、引き続き、切れ目のない支援に努めます。

外部評価 市による達成状況の総括は妥当です

- 保育所等待機児童の解消は重要な課題であり、待機児童ゼロを達成したことを高く評価します。
- 学校給食事業では、秦野産野菜の必要量の確保に向けた取組みをより一層推進し、子どもたちの地産地消への理解の促進や秦野の農業への誇りの醸成など教育的な観点(食育)からの更なる展開が望まれます。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

「温泉」、「大学」、「まちの中心地、文化歴史」、「表丹沢」など、小田急線4駅それぞれの魅力ある地域資源や特色を生かした、楽しい「まち歩き」の仕掛けづくりなどにより、活力あふれるのにぎわい創造に取り組みます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
<div></div> 4駅の乗降客数の合計(1日平均)	123,058人	▶	123,000人
.....			
<div></div> 定住意向 (住み続けたい、どちらかと言えば住み 続けたいと考えている市民の割合)	79.3%(R2)	▶	95.0%

概ね順調に進んでいます。

大山と鶴巻温泉駅を結ぶバスの運行など、自治会、商店会等と連携し、温泉地としての魅力を生かした駅周辺のにぎわいづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
鶴巻温泉年間観光客数	弘法山公園の観光資源としての価値を最大限引き出し、東海大学前駅、秦野駅周辺を含めた地域活性化に向けた魅力あるまちづくりを目指す	173,950人	180,977人	122,218人	173,950人	141,885人	81.6%	B	<ul style="list-style-type: none">・大山と鶴巻温泉駅間のバスの季節運行の拡充・バスの季節運行に合わせたイベントの実施・YouTube動画を活用した広報宣伝
弘法の里湯年間利用者数	鶴巻温泉街の観光振興と地域活性化を図る	147,243人	153,191人	110,461人	147,243人	120,256人	81.7%	B	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理・誘客のためのイベント、キャンペーンの実施・名水はだの富士見の湯との連携サービスの実施

やや遅れています。

駅利用者の利便性や安全性を高めるとともに、大学等と連携し、多くの学生が集まる駅という特色を生かしたにぎわいづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
学生と連携した商店街イベントの参加者数	商店街と学生が連携したイベントの実施によるにぎわい創造を推進する	7,000人	7,700人	— ※	7,200人	2,734人	38.0%	D	<ul style="list-style-type: none">• おおね秋祭り(2,000人来場)• 歳末売り出し(734人来場(期間中の2日間、学生が主催でクリスマスU-night2022を実施)) ※ R3年度は新型コロナウイルスの影響でイベントが中止となった
東海大学前駅の乗降者数(1日平均)	東海大学前駅周辺のにぎわい創造による乗降者数の増加を図る	38,909人	38,000人	24,878人	38,000人	32,462人	85.4%	B	<ul style="list-style-type: none">• 4駅にぎわい創造検討懇話会(東海大学前駅)の開催
商店街区域内の新規開業店舗数(商店街空き店舗活用事業補助金活用店舗数) ※ R5.3追加項目	空き店舗を活用した新規開業を促し、商店街の活性化を図る	9件	5件	5件	5件	5件	100.0%	A	<ul style="list-style-type: none">• 審査会の実施(8名の申込みに対し5名への支援を実施)

順調に進んでいます。

良好な市街地形成に加え、まちの中心として発展した歴史や湧水、文化、桜並木などの地域資源を生かしたにぎわいづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
震生湖年間観光客数	震生湖の魅力を磨き上げ、秦野駅からのハイカー等を増加させることで駅周辺のにぎわいにつなげる	39,089人	40,668人	75,594人	39,089人	58,998人	150.9%	A	<ul style="list-style-type: none">太鼓橋架け替えに向けた測量調査の実施誕生100周年を迎えることを周知するため、ポスターの作成憩いの場の快適な環境の維持
弘法山公園年間観光客数	秦野駅と鶴巻温泉駅、東海大学前駅を結ぶ周遊観光拠点として、世代を問わず低山登山やハイキングを楽しめるよう、桜や展望台、ハイキングコースなど観光資源の適正な維持管理や、弘法山周辺の活性化に資する取組みを推進する	344,382人	358,295人	771,321人	344,382人	493,924人	143.4%	A	<ul style="list-style-type: none">ニーズ調査を目的とした弘法山マルシェの開催桜の開花に合わせた提灯によるライトアップ利活用方針策定に向けた庁内検討会議を開催

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
名水はだの富士見 の湯年間来訪者数	弘法山公園の観光 資源としての価値 を最大限引き出し、 東海大学前駅、秦 野駅周辺を含めた 地域活性化に向け た魅力あるまちづ くりを目指す	76,403人	79,489人	76,832人	76,403人	111,084人	145.4%	A	<ul style="list-style-type: none">施設の維持管理第3期指定管理期間 (R5.10～)の指定管理者 の選定

やや遅れています。

表丹沢や渋沢丘陵への玄関口として多くの登山者やハイカーが訪れるため、商店会や関係団体と連携し、まちの魅力発信とにぎわいづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
頭高山年間来訪者数	にぎわいの創造につなげるため、ハイカーや観光客が快適に過ごせるようハイキングコースなど観光資源の整備や維持管理に努める	7,684人	7,994人	8,072人	7,684人	4,930人	64.2%	C	<ul style="list-style-type: none">憩いの場の快適な環境の維持休憩広場前の遊休農地を活用した菜の花の栽培
大倉地区年間観光客数	表丹沢魅力づくり構想のもと、表丹沢において気軽に山歩きが体験できる環境整備を進め誘客促進を図る	332,165人	345,584人	365,074人	332,165人	341,518人	102.8%	A	<ul style="list-style-type: none">パンフレットやホームページを活用した山岳ハイキングコースの情報発信
秦野丹沢まつり来訪者数	「山に親しむことができる祭り」として山開き式やイベントを実施する	56,000人	58,262人	— ※	56,000人	— ※	—	—	※ R3・4年度は新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となった

市による達成状況の総括 **概ね順調に進んでいる**

重要業績評価指標(KPI)11項目のうち、今回評価対象となる10項目に対して、A評価(5事業)及びB評価(3事業)の合計は、8事業(80%)でした。

施策は概ね順調に進んでいますが、今後の施策展開に向けて、新型コロナウイルスによる施策への影響を検証するとともに、取組みの検討を進めます。

外部評価 **市による達成状況の総括は妥当です**

- 新型コロナウイルス感染症による影響が落ち着きを見せ、にぎわいを取り戻しています。にぎわい創造に係る今後の施策展開にあたり、新型コロナウイルスによる施策への影響を今一度検証し、人出の回復及び増加に向けた見通しと取組みの検討を進めることが望まれます。
- 「駅から歩いて行ける低山」があることは秦野市の大きな魅力です。登山客の増加と駅のにぎわいが相乗効果をもたらすような取組みの推進を期待します。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト





基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

新東名高速道路の開通を本市発展の絶好の機会と捉え、産業・観光振興の両面から最大活用を図るとともに、国道246号バイパスの早期全線事業化・整備の促進に取り組んでいます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
 年間観光客数	4,472,000人		4,652,000人
.....			
 観光客の年間消費額	59億1,800万円		61億5,700万円

遅れています。

表丹沢における農林業、観光、文化、歴史、スポーツなど、広範な分野の地域資源を磨き、つなげ、新たに触れる機会を増やし、
本物の魅力を見つけ出せる表丹沢とすることにより、交流人口の増加と地域活性化を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
表丹沢の魅力発信 WEBサイトへの年 間アクセス件数	本市の「山旅」ス ポットを紹介する WEBサイトの運営	65,797件	88,200件	90,961人	79,900件	114,789件	143.7%	A	・「山旅」に関する旬な情報の 発信
表丹沢野外活動セ ンター年間利用者 数	青少年の育成活動 や里地里山保全活 動を中心とした利 用のほか、更なる 活用を促進する	11,266人	17,000人	4,419人	14,000人	7,693人	55.0%	C	・親子キャンプ教室、木工教 室、炭火クッキングと炭づく り教室等のイベントの開催
やびつ峠レストハウ ス年間利用者数	森林、里地里山、観 光の連携事業を展 開するための拠点 施設として、交流 人口の増加と市内 消費を生み出し、 地域所得の向上や 観光振興、アウトド ア活動やグリーン ツーリズムが盛ん な地域イメージの 確立を図る	— ※	18,987人	14,185人	18,250人	13,152人	72.1%	C	・施設のPR及び地域一体の 観光振興を目的としたアウ トドアイベントの開催 ※ R3年に開設されたため 現状値(R元)を「—」とする

遅れています。

新東名高速道路等のネットワークや地域特性を生かした新たな雇用の創出につながる周辺への企業誘致を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
新規立地及び施設 再整備企業数(企 業誘致条例の優遇 措置適用企業数) (年間)	本市の地域特性を 生かした企業誘致 及び市内既存企業 の施設再整備を図 る	3社	2社	0社	2社	1社	50.0%	C	<ul style="list-style-type: none">・県、金融機関と連携した情 報収集・制度の周知

遅れています。

スマートインターチェンジから市街地へのアクセス性を高めるなど、新東名高速道路開通に伴う新たな人の流れを支えるネットワーク形成を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
構想路線(都市計画道路 戸川堀山下線(仮称))の整備進捗状況 ※「都市計画道路 菩提横野線(1期区間)」	新東名高速道路の供用開始に伴い、S ICから中心市街地へのアクセス性を高める	0.0%	100.0%	1.7%	35.0%	5.0%	14.3%	D	<ul style="list-style-type: none">菩提横野線整備のための測量委託菩提横野線整備のための詳細設計委託(繰越明許)関係機関との協議

順調に進んでいます。

県、周辺自治体と連携し、国道246号バイパスの建設促進や未事業化区間の早期事業化を促進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
早期全線事業化・ 整備の促進に係る 要望回数	246号バイパスの 建設促進や未事業 化区間の早期事業 化に向けた国県等 への要望を行う	4回	4回	4回	4回	4回	100.0%	A	<ul style="list-style-type: none">・国道246号バイパス建設促 進協議会への要望・国、県への要望

市による達成状況の総括 遅れている

重要業績評価指標(KPI)6項目のうち、A評価(2事業)及びB評価(0事業)の合計は、2事業(約33%)でした。
また、D評価となった都市計画道路の整備については、都市計画決定に伴う手続きに時間を要したことによるものですが、変更後のスケジュールに遅れが生じることがないように、適切な進捗管理と事業執行に努めます。

外部評価 市による達成状況の総括は妥当です

- 表丹沢野外活動センターは、表丹沢魅力づくり構想を推進するうえで重要な施設です。目標とする利用者数と実績との乖離の要因に係る分析と対策の検討が必要です。
- 都市計画道路の整備について、リスケジュールとなった理由を明確にしたうえで、新たな事業計画に基づく目標設定及び進捗管理が必要です。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

新型コロナウイルスの収束を見据え、市民の「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る3本柱での対策を充実させるとともに、スマート自治体への転換やデジタル化を推進し、新たな日常の創造に取り組めます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
■ 標準財政規模に対する実質収支と財政調整基金現在高の割合(適正な実質収支比率及び財政調整基金現在高比率の確保)	14.2%	▶	15.0%
.....			
■ 各種手続のオンライン化率	34.0%	▶	100.0%

概ね順調に進んでいます。

感染症から市民の健康を守るとともに、新たな日常における日々の暮らしや地域経済を守る施策を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
工業統計調査における、従業員4人以上の事業所の1年間の製造品出荷額等	新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を踏まえ、平成25年度現状値と同額以上を目指す	4,402億円	4,402億円	5,785億円 (R元年実績)	4,402億円	4,006億円 (R3年実績)	91.0%	B	<ul style="list-style-type: none">企業の事業継続を支援するための取組みを実施利子補給を拡充支援するとともに信用保証料を補助

順調に進んでいます。

あらゆる市役所業務でのICTの積極的活用により、スマート自治体への転換やデジタル化を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取り組み事業等
市ホームページへの 年間アクセス件数	市民との情報共有 や市のPRを図る ため、閲覧性や検 索性の向上と魅力 的な内容の充実を 図ることによるア クセス数の増加を 目指す	797万件	845万件	1,352万件	796万件	1,035万件	130.0%	A	・閲覧性や検索性の向上 ・タイムリーな情報提供 ・検索機能の強化
ICTの活用により削 減された職員の事 務作業時間(累計)	定型的な業務に対 して、業務プロセス の効率化、非効率 な業務時間の短縮 等によるコスト削 減などを目的に、 RPAによる業務自 動化を導入する	— ※	7,350時間	451.6時間	1,500時間	1,619時間	107.9%	A	・RPA実行環境を4業務追加 し、累計8業務での運用を 行った ※ R2にRPAの運用が開始 されたため現状値(R元)を 「—」とする
LINE友達登録数	防災情報や感染症 関連情報イベント 情報など、緊急情 報や暮らしに役立 つ情報を発信し、 市民の情報取得の 利便性向上を図る	— ※	21,000人	20,943人	15,000人	23,542人	156.9%	A	・導入の趣旨に沿った運用で 迅速な情報提供を実施 ※ R2年に開設されたため 現状値(R元)を「—」とする

市による達成状況の総括 **概ね順調に進んでいる**

重要業績評価指標(KPI)4項目のうち、A評価(3事業)及びB評価(1事業)の合計は、4事業(100%)でした。
施策は概ね順調に進んでいます。

外部評価 **市による達成状況の総括は妥当です**

- 「新たな日常創造プロジェクト」では、地域活性化や移住・定住施策など大局的な視点から、施策の質的転換も含めた展開が望まれます。
- 「新たな日常創造プロジェクト」に財政指標を設定することは、安定的な市民生活を確保し続けるための財政的な備えに対する評価として理解しますが、設定の趣旨や目標達成による成果を市民に分かりやすく説明する工夫が必要です。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

本市に多くの人の流れを呼び込むことが期待される基本目標3と基本目標4を組織横断的に進め、「住みたい」、「働きたい」、「何度でも行ってみたい」につながる「関係人口」を創出・拡大させることにより、地域経済の活性化を図るとともに、移住・定住人口の増加につなげます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)



重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R3実績値	R4目標値 (A)	R4実績値 (B)	R4達成率 (B)／(A)	達成 状況	R4主な取組み事業等
住宅施策を活用した年間移住世帯数 ※ R5.3指標変更項目	若年世帯等への住宅購入補助、既存施策と連携した移住・定住希望者への積極的な情報提供等により、人口減少の抑制を図る	4世帯 ※	15世帯 ※	7世帯 ※	55世帯	75世帯	136.4%	A	<div>・はだの丹沢ライフ応援事業の周知、運用</div> <div>・ミライエ秦野の入居者募集、運用</div> <div>・空家バンクの運用</div> <div>※ R4～R6の期間で「はだの丹沢ライフ応援事業」を実施しているためR元及びR3実績並びにR7目標値に当該事業の実績等が含まれない</div>

市による達成状況の総括 順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)1項目の令和4年度の実績は目標を大きく上回っており、施策は順調に進んでいます。

外部評価 市による達成状況の総括は妥当です

- 令和4年度から開始した新たな住宅施策による効果が表れており、今後の更なる成果が期待されます。
- 移住・定住活性化に向け、秦野市の顕在的及び潜在的な魅力並びに各種施策について、市内外に効果的に発信することが重要です。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

令和5年 月 日()に、秦野市行財政調査会から、令和4(2022)年度外部評価として、次のとおり市長への報告がありました。

5つの基本目標と1つの横断プロジェクトの達成状況に対する市の総括は妥当であり、特に、本市人口の社会増を目的とした「移住・定住施策」や「子育て・教育施策」に関する指標が良好に推移していることを評価します。

3年にわたるコロナ禍を超えて、社会が本来の活気を取り戻しつつある今、新型コロナウイルスによる施策への影響を検証し、今後の取組みに反映することで、市民の「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る施策の更なる充実に取り組まれることを期待します。特に、コロナ禍で得た様々な知見を生かし、施策の質的転換も含めた「デジタル化の推進」など、「新たな日常の創造」に向けた施策の展開に期待します。

一方、目標に対して遅れが見られる項目のうち「健康づくりに関する意識啓発」は事業の内容や効果的な周知が、また、「新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進」は変更後の計画に沿った事業の執行と適切な進行管理が望まれます。

なお、具体的施策の評価に当たり委員から、「KGIとKPIの体系的整理」や「中間年度におけるKPI目標値の見直し」の必要性などについて、多くの指摘がありました。総合戦略のプロジェクト(基本目標)を「総合計画リーディングプロジェクト」と一体的にKGIとKPIを設定したことが、一部の施策におけるKGIとKPIの関連性を分かりにくいものとしています。また、中間年度において目標値を超えている施策や未執行の施策も散見されます。

そのため、施策の推進に当たっては、KGIとKPIの関係性を常に意識し、必要に応じてKGIとKPIをつなぐ新たなKPIの設定や置き換え、毎年度の効果検証を踏まえたKPI目標値の上方又は下方修正などを行いながら、KGIの達成に向けた適切な目標設定と進行管理に継続的に取り組む必要があると考えます。

当調査会の指摘を参考とし、今後も第2期総合戦略及び総合計画前期基本計画に掲げた基本目標(リーディングプロジェクト)の達成と、目指す都市像「水とみどりに育まれ 誰もが輝く暮らしよい都市(まち)」の実現に向けた施策の着実な推進に取り組まれることを期待します。